

## 第 1 回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 14 年 5 月 13 日 午後 6 時 30 分  
場 所 中央図書館 4 階会議室  
出席委員 小池 滋 河北祐子 齊藤 洋 佐治俊彦 浜 俊子  
藤井佐和子 藤原正彦 宮部博史 山崎三省 山本ふみこ

### 会 議 次 第

- 1 委嘱状の交付
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員の自己紹介
- 4 図書館運営委員会設置要綱について（館長より説明）
- 5 議題

#### 委員長の互選

協議の結果、小池 滋 氏が委員長に選任された。

#### 今後の運営について

委員長 委員の任期が 2 年間ある。今後の図書館のあり方等大きな方針はこの 2 年間で決めていきたい。

この間に図書館運営にかかわる細かい問題が出てきた場合は、その都度協議していきたい。

最初の 1、2 回は図書館の運営にかかわるさまざまな問題について、それぞれの方の考え方や問題提起を自由に出していただいた上で、テーマを絞っていきたい。

委員 配布資料では、平成 11 年度に比べ平成 12 年度の貸出数が減っているがどうか。

館長 開館以来貸出数はずっとふえてきていたが、11 年度から 12 年度では若干減った。なお、平成 13 年は 1 人当たりの貸出数が 10 冊になったこともあり、120 万冊を超えて増えている。

委員 リストラされた人が図書館で新聞や本を読んでいる姿をよく見かける。これはひとつの社会現象であり、図書館の新しいニーズが出てきているのではないか。

委員長 本来の利用者以外の利用、たとえばホームレス等の問題もある。その対応も考えなければならない。

委員 「受験勉強のため」「いい本が学校にない」昔はこれが図書館に行く大きな目的だった。最近では「図書館で読みたい本を買ってもらおう」というニーズも

あると思う。そういう中で、図書館で残す本、図書館にこなれば見られない本をどうとらえるかが問題だ。

委員長 市民の要望があれば満たすべきだということは基本だが、後世に残す本を選んで揃えるということも必要であり、その折り合いをどうつけるかが課題だ。

委員 本はもちろんだが、活字だけではなくさまざまなものを含んだ地域のリソースセンターとしての機能も期待されている。

委員 活字以外では、今も AV コーナー等がある。図書館と博物館との境はどこかという点がでてくるが、分野をあまり限定しない議論も必要だ。

委員 大学の図書館では専門分野の充実した図書を持っている。地域と大学のネットワークの強化を考えたい。

委員 大学と連携する際には、大学側で一般の利用を制限していることが多い、その辺は考慮しなければならない。

委員 地域の小学校を窓口とした団体貸出のような形での対応など小中学校の図書室との連携も必要だ。必要な人手については NPO の活用等も検討したらどうか。

委員 読書指導やブックスタートはいいことだ。どちらかといえば図書館は受身的だが、市民に対して働きかけをする行動する図書館としての発想が生まれてくれば面白い。

読書の動機づけまでうまくいっていても、高校生が本を読まなくなっている、1 読書を掘り起こして家庭に働きかけられる提案をしていきたい。

委員 武蔵野市の特色を持たせ、個性ある図書館づくりができればと思う、市を特徴付ける資料の充実が大事だ。

委員 学者等の専門書の寄贈は今後増えていくと思われる。専門的な貴重な資料であっても、一般の人には利用価値があまりない場合もある、その対応も必要だ。

図書のリサイクルについて説明してほしい。

委員 学者の方が亡くなって貴重な本の寄贈の申し出を受けても、ある分野の専門書を何万冊という寄贈を受けるのは難しく対応に苦慮している。現在、武蔵野市図書交流センターを立ち上げ、寄贈本を有効に利用するシステムをつくる準備をしている。

リサイクル本は、図書館で不要となった保存年限の過ぎた雑誌、多く買った本(ベストセラーなど)や、市民の寄贈本で既に図書館にある本などをリサイクルという形で出している。リサイクル本は 100% 近く利用者が持って帰っている。

委員長 大学の図書館と違い、あまり専門分野にかたよりがあっても、市の図書館としては難しい面もあると思う。

委員 3 館ある図書館の休館日が皆金曜日という理由は何か、次回までにその理由を整理して説明してほしい。

西部図書館では小金井市民の利用が多い。隣接した小金井の第三小学校に通う

越境入学している子どもは、武蔵野市の図書館を利用できない。一部のマイナリティに対してどこまで対応できるかということはあるが、少なくとも小中学校という範囲については、他の子どもと同等の扱いができるよう考えてほしい。

以前、美術館検討委員会の委員としていろいろ意見を申し上げたが、実際にできた美術館は、吉祥寺にある F&F の 1 フロア - を使ったもので、美術館ではなく、いってみれば美術階のようなものだった。こういうことがあると、せっかく意見を言ってもしょうがないということになってしまう。もし、できないのならできないで、誰が聞いても納得できるような数値の裏づけのある理由を示して説明してほしいと思う。この委員会ではそのようなことのないような対応をお願いしたい。

#### その他

選書部会の人選について、委員の互選により以下のとおり決まった。

部会長            佐治委員  
選書部部会員   浜委員、藤井委員、宮部委員

委員長に事故等があった場合の職務代理に、山崎氏が選出された。

会議の記録については委員会についてのみ要録を作成し、次回委員会で内容確認を経たのち正式記録とすることに決した

なお、選書部会については、会議要録は作成しないこととした。

次回日程は、9月2日(月) 18:00~ と決まった。